

JOBIA SustainuS 宣言

CONCEPT

株式会社ジョビアは、サステナブルな社会の実現を目指し、
人と場、場と環境、環境と人の新しい関係を創造します。



1

人材紹介・人材派遣事業

誰かの人生の「よりどころ」となれるように

当社は横浜で 60 年間以上、企業の求める人材ニーズと適材適所に役に立てる人材のマッチングをコーディネートしてまいりました。なかでも 70 代、80 代の高齢者の就労実績や女性の活躍の場の拡大に力を入れ、企業と就職者の架け橋をするだけでなく、登録スタッフの「人生をサポートする」をモットーに活動しております。これからも蓄積されたノウハウと知識をもとに SDGs の各目標達成に向けて邁進していきます。

人材紹介システム・人材派遣システム・紹介予定派遣
業務委託（ショップ運営代行・イベント運営代行・オンライン店舗運営代行）

- 厚生労働省認定の職業紹介優良事業所認定取得
- 創業 60 年以上の歴史と実績
- 多様な就労先の実績
- 永年勤続表彰者（5 年～ 45 年）多数在籍
- 独自システムと共済制度で高い定着率
- シングルマザー支援制度
- 外国籍就労支援



▲厚生労働省職業紹介優良事業所
認定ロゴマーク

5 ジェンダー平等を 実現しよう



5. ジェンダー平等を実現しよう

就業希望者に、年齢・性別・属性にとらわれない雇用条件や待遇などを考慮した就業機会を提供することで、ジェンダー平等の実現に貢献します。

8 働きがいも経済成長も



8. 働きがいも経済成長も

就業希望者、雇用希望企業双方にマッチング機会を提供し続けるだけでなく、就業希望者の生活にあった働き方やそれぞれの経験や強みを活かした働き方を提供することで、就業希望者における働きがいと雇用希望企業における経済成長に貢献します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

高齢社会と出生率の低下にともない労働力人口が減少していく現代において、定期的な研修やスタッフのスキル・モチベーションを向上させることで、革新や成長を目指す企業に高品質で必要な労働力を提供することにより、産業の成長と技術革新の基盤づくりに貢献します。

10 人や国の不平等をなくそう



10. 人や国の不平等をなくそう

年齢や国籍、人種、伝統的慣習にとらわれない、就業機会を就業希望者に提供することで、人や国の偏見や差別、不平等をなくすことに貢献します。

1

SustanuS 事業（遊休不動産活性化事業）

既存の事業とビルを活かす

「SustanuS（サステナス）」とは、サステナブルの動詞「Sustain」に「私たち」を意味する「us」を合わせた造語。2021年11月に当社が起ち上げた新規事業です。

現在、本社ビルの1階から3階を活用し、3階にはハーブや葉物野菜、食用花などをLEDで育てる水耕栽培の「SustanuS farm」、2階はその収穫物を利用して製造加工する「ICONIC STAGE Kitchen」、そして1階にそれらの製品を消費者に提供するショップとカフェ「ICONIC STAGE」をオープン。栽培から製造加工、販売提供までの3次+2次+1次産業の「6次産業」と「店産店消」の双方を実現させました。また、コロナ禍で新たな雇用の創出にもつながりました。



▲ LEDを使用した水耕栽培施設



▲ 3階で栽培、2階で調理されたキューブケーキ。
1階のカフェまたは店舗で販売される

2 飢饉をゼロに



2. 飢饉をゼロに

● 1年中野菜がとれる

■ 畑などの外の農場で野菜を栽培すると、気温、雨、風や台風などの影響を受けるので、季節によっては野菜が取れなかったりします。また雨が少ないとよい野菜が育たなかったりもします。

■ 水耕栽培は部屋の中で育てるので、そのような影響がなく、1年中野菜が育ち、収穫できます。



3. すべての人に健康と福祉を

● 無農薬だから安心

■水耕栽培は部屋の中で野菜を育て、虫が入らないように部屋を密閉しています。また水耕栽培の部屋に入る時には、エアシャワーという強力な空気のシャワーを浴びて、洋服についている虫やほこりを落としてから入ります。

■虫がいない空間で育てるので、虫を殺す農薬（殺虫剤）が必要ありません。農薬をつかわないので、つみたての野菜を洗わずにそのまま食べられます。



7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

● 運送に必要な燃料が少ない

■都心のビルで栽培するので、都心のレストランなどに運送する燃料（ガソリンなど）が少なく済みます。また燃料が燃える時に出る二酸化炭素も少なくなります。

■特にSustainuS ファームの野菜は同じビル内のレストランで使われるので、二酸化炭素はまったくでません。



11. 住み続けられるまちづくりを

● 発想を転換し街を活性化させる

ビルの中古化・経年劣化に加え、人口減少やコロナ禍で日に日に不透明感を増すビル経営において、発想を転換し、積極的に活用、変換していくことで、ビルの再活用、労働支援を行い、街の活性化、地方創生を行っていきます



12. つくる責任 つかう責任

● 食品ロス削減と無農薬不使用栽培

食品ロスの原因としてあげられる主なものは、直接廃棄（食べ残し、手つかずの食品）や過剰削除（皮のむきすぎ）がありますが、気候の変化などによる生産量の過多から生産地で廃棄されるものも多々あります。

LEDを使用した水耕栽培では、外部の環境に左右されずに安定して作物を収穫できるため、作りすぎによる食品ロスを防ぐことができ、フードロス削減につなげることができます。



13. 気候変動に具体的な対策を

● 災害リスク管理可能な施設

近年多発する自然災害は、農用地の土壌汚染、地盤沈下による農業施設の機能低下、農業用排水の水質汚濁など大きな被害をもたらします。土を使わず、ビルなどの施設内で栽培される水耕栽培では、天候の影響を受けないため自然災害から受けるリスクも少なく、土耕栽培に比べ省スペースで作物を栽培することが可能です。



15. 陸の豊かさを守ろう

● 土壌劣化の阻止

土は農業生産に欠くことのできないものですが、生産性を高めるために堆肥などを使用し土質の改善を繰り返すことは土壌の劣化につながります。栄養分の偏った土壌は土の地力を弱め、土の砂漠化や塩類が土表に蓄積する塩類集積などにもつながります。

水耕栽培ではPHやEC（肥料や塩分濃度の指標）をいつも適正に保つことができるので、土壌を劣化させることなく、安定した土壌の品質管理が行えます。